

氏名(本籍)	<small>かわ</small> <small>むら</small> <small>あきら</small> 川村 顕 (大阪府)
学位の種類	博士(社会経済)
学位記番号	博甲第3674号
学位授与年月日	平成17年3月25日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当
審査研究科	システム情報工学研究科
学位論文題目	歯科医療サービス市場における計量分析
主査	筑波大学教授 工学博士 糸井川 栄一
副査	筑波大学教授 博士(法学) 古川 俊一
副査	筑波大学教授 Ph.D.(応用経済学) 黒田 諠
副査	筑波大学教授 博士(経済学) 吉田 あつし
副査	筑波大学講師 博士(経済学) 山鹿 久木

論文の内容の要旨

本論文は、歯科医療サービスの需要者である消費者および供給者である歯科医師の行動を理論的に考察し、その理論モデルを用いて、医療費一部自己負担率の改定が医療需要と供給にどのように影響を与えたか、歯科医師の新規参入・退出がどのような要因によって決定され、その結果消費者の厚生水準がどう変化するかを考察している。歯科医療サービスのサービスごとの単価は診療報酬表によって公定されている一方、歯科診療所の開設は原則自由で、消費者は自由に歯科医院を選択することができる。したがって、歯科医院は価格以外の手段で競争を行わなければならないが、本論文は、そのような競争が社会の厚生水準の向上につながるかどうかを理論的・実証的に取り組んだものである。

本論は5章から構成され、第1章は上述した本研究の背景と目的について述べ、第2章は、現行の公的医療保険制度の概要をまとめ、国際比較を行っている。さらに、医療サービスにおける消費者の自己負担率の違いが医療サービス需要行動にどう影響したかを検証したアメリカで1980年代に行われたRAND実験の結果についてまとめている。最後に、「競争が厳しくなり医師の所得の減少が予想されるときには、医師は需要を誘発する」という医師誘発需要仮説のサーベイを行うとともに、同仮説の日本の歯科サービス市場での妥当性について分析を行い、妥当しないことを示している。

第3章では、被保険者の自己負担率の変化の歯科医療サービスの需要・供給に対する変化を表現する消費者と歯科医師の行動モデルを提案し、97年9月に健康保険組合の被保険者本人の自己負担率が変更されたことが、需要・供給の変化をもたらしたかどうかについて統計的に検証している。通院日数について Hurdle Negative Binomial Model を用いて推定した結果、①改定の前後1年間では被保険者本人の通院日数は減少したが家族のそれは変化しなかった。②長期的には被保険者本人の通院日数は増加し、家族のそれは変化しなかった、ことを明らかにした。他方、医師の供給行動分析のために改定前後1年間両方での患者の1日あたりの医療費を比較したが、1日あたり医療費の期待値にはほとんど変化はなかった。これらの結果は、理論モデルからの予想と整合的であった。

第4章では、歯科医院の参入・退出行動の歯科医療サービスの需要・供給に対する変化、ならびにその結

果としての厚生水準に対する変化について、1996年から2000年の国民健康保険一般加入者を対象として分析している。その結果、歯科医院数が変化していない地域では、需要・供給行動および1人あたり歯科医療費の経年的な変化は確認できなかった。他方、参入が続く地域では、需要を示す通院日数は経年的に減少しているのに対し、供給を示す1日あたり歯科医療費は経年的に増加することが判明した。また、同地域の1人あたり歯科医療費は経年的な変化があるとはいえないことを示しており、本論で前提としている消費者の間接効用関数では、参入の続く地域では消費者の厚生水準が増大していると結論づけている。

第5章では、データ制約上検証し得なかった課題が列挙され、今後の研究の方向が示されている。

審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文では、患者一部自己負担比率の変更が、歯科医師および患者の行動をどのように変化させたかを個票データを用いて検証する一方、市レベルで集計されたデータを用いて、歯科医師の競争と消費者の厚生水準について新しい知見を得ている。提案した理論モデルの中で何が内生変数、外生変数なのかを明確にし、注意深くデータを吟味し、適切な統計手法をもちいて理論から予測される結果を検証している。また、現状の公的医療保険制度のかかえる課題を簡潔に要約し、本研究がこれらの課題の解決に対してどのような政策的含意を持つかについても考慮されている。

本論文の主要な部分は、審査つき学術誌に出版されている。以上の諸点を評価すると、本論文は本学の博士号の水準に達しているものと認められる。

よって、著者は博士（社会経済）の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。